

様式2

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2025 年 7 月 31 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所

〒 541-8501
大阪府大阪市中央区今橋3-5-12
氏 名 日本生命保険相互会社
(代表者名) 代表取締役 朝日 智司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 環境保全行動
第23条第3項 の規定により、自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日					
事業 の 規 模	従業員数	813	人	原油換算した	318.6		kl
	使用床面積	11,636	m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	14	事業所	自動車使用台数	28	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	721	t-CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC
		非エネルギー起源CO ₂		t-CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃
報告書の担当部署		担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス					
計画書提出根拠		条例第13条(環境保全行動計画)				☒ 第1項 ☐ 第3項	
		条例第23条(自動車使用管理計画)				☐ 第1項 ☐ 第2項	
計画期間		2024 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり					
備 考		2025年4月1日 代表取締役変更 (変更前:清水 博) 計画時 従業員数 1250人 使用床面積 11635m ² 事業所数 14事業所 自動車使用台数 33台 (うち、次世代自動車 24(HV)台)					

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】
2024 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日
【報告期間】
2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2024年度結果			2025年度結果			2026年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
二酸化炭素排出量の削減	760	3	721	5	○						
	t	%	t	%							
		%		%							
		%		%							
		%		%							
		%		%							
		%		%							
		%		%							

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
○：目標削減率を達成
△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
二酸化炭素排出量の削減	○	エネルギーの効率的活用および使用床面積の減少